

生徒指導だより

令和6（2024）年

1月12日（金）

高槻市立第六中学校

生徒指導部通信 No.32

～ やさしさを持って、いきいき、たくましく生きる ～

今年の干支は辰

あけましておめでとうございます。2024年・令和6年になりました。今年の干支(えと)は「辰(たつ)」です。干支は皆さん言えますか？このプリントの下に干支についてのせていますので、まずは何も見ずに言えるか試して、下で確認してみてください。意外と言えないかも・・・また時間や方角を表すときにも使いますね。古文とかにもでてきますよ。



そもそも、なぜ十二支(じゅうにし)に動物が使われているのかを知っていますか。十二支が生まれたのは中国の「殷(いん)」の時代。もともと日付や時刻、方角を表すために使われていましたが、干支の漢字「子(ね)・丑(うし)・寅(とら)…」は特に意味を持たない記号のようなもので一般の民衆には覚えにくかったそうです。

そこで、人々が覚えやすいようにと後漢(ごかん)の時代に十二支を身近な動物を割り当てました。これが十二支に動物が使われた始まりと言われています。干支の漢字(子丑寅…)と動物の漢字(鼠牛虎…)がかなり違うのは後から割り振られたことが理由です。ちなみに十二支は日本以外の国にもあります。動物の種類や順番はほぼ同じですが、タイやベトナムは「うさぎ」の代わりに「猫」が入っていたり、中国では「いのしし」の代わりに「豚」が入っていたりと、国によって割り当てられている動物に微妙に違いがあるようです。

辰年とはどんな年？

辰の語源や意味、竜の特徴、ことわざなど、辰と竜に関する豆知識を紹介します。辰は動物にあてはめると竜(龍)ですが、竜は十二支で唯一の想像上の動物なので、わからないとも多いですね。十二支では、5番目です。辰の方位は、東南東(正しくは、南東よりやや東、東南東よりやや南、南東微東よりやや東)です。辰の刻は、午前



8時を中心とする約2時間(7時～9時)になります。辰の月は、旧暦3月です。
竜をつかった四字熟語やことわざなどもあります下にのせていますので、どの言葉がどの意味なのか線でつないでみてください。

- 竜頭蛇尾(りゅうとうだび) ●
- 強いものが一層勢いを得ること。
- 画竜点睛を欠く(がりょうてんせいをかく) ●
- とても危険なことをする例え。
- 登竜門(とうりゅうもん) ●
- 肝心な一点が抜けていること、詰めが甘いこと。
- 竜の水を得る如し(りゅうのみずをえるごとし) ●
- 始めは勢いが良いが、終わりは振るわないこと。
- 竜の鬚を撫でる(りゅうのひげをなでる) ●
- 立身出世の関門のこと。



線でつないでみてね。迷った場合は、みんなで考えてみてね。
それでもわからない場合は担任の先生に聞いてみてね。

辰年は『陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年』だといわれています。この辰年のように、みんなが大きく成長して、たくさんのところで活やくできる姿を見られることを楽しみにしています。2024年も目標を持ち積極的に取り組んでいきましょう。今年もよろしくお願いします。

☆今後の六中の予定☆ 予定は変更されることがあります。

1月15日	月	月1～5総
16日	火	火1～6
17日	水	1・2年:道水2～5 3年:後期Bテスト(社テ・国テ・理テ)
18日	木	1・2年:木1～5総 3年:後期Bテスト(数テ・英テ)総
19日	金	金1～5特

子(ね)→丑(うし)→寅(とら)→卯(う)→辰(たつ)→巳(み)→午(うま)→未(ひつじ)→申(さる)→酉(とり)→戌(いぬ)→亥(い)